

『大腸ポリープの切除方法による治療成績の検討』

【目的】大腸ポリープの切除にあたり局注やスネアに通電をするか否か、また通電の設定は処置後の合併症や病理学的評価の結果に影響をもたらします。今回、大腸ポリープの切除方法による治療成績、病理学的所見の違いを評価します。

【期間】2024 年 10 月 4 日～2028 年 3 月 31 日

【方法】

＜対象となる患者さん＞

2023 年 4 月 1 日～2024 年 9 月 30 日までに当院で大腸腫瘍に対してポリープ切除術を受けた方

＜研究に用いる試料・情報の種類＞

試料：切除した大腸ポリープ検体等

情報：年齢や性別、内服薬などの患者情報、ポリープの部位や大きさなどの内視鏡所見情報等

【試料・情報の管理責任者】

独立行政法人地域医療機能推進機構 星ヶ丘医療センター
院長 細野 昇

◎研究への参加について

この研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、遠慮なく研究責任者にお伝えください。たとえお断りになっても今後の治療において不利益を受けることはありません。

この研究について、心配なことや、わからないことがあれば、いつでも遠慮なく下記連絡先までお問い合わせください。また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産権の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

独立行政法人地域医療機能推進機構 星ヶ丘医療センター
〒573-8511 大阪府枚方市星丘 4-8-1
TEL (072) 840-2641 (代)
所属・職名 消化器内科 医長
研究責任者 渡部 嘉文